

2021年度 各部会の活動概要

- 新たなVEを探求する - マネジメント部会	対象者: 新時代に求められるVE手法の開発に関心のある方 主 査: 関田 力 [CHIKARIZE 代表]
新しいビジネスモデルの発想を、天才に頼ったり、偶発的ではなく、より効果的・効率的に生み出す VE 手法の確立を目指しています。18/19年度の活動において、「逆流 VE」という新たな手法を開拓してきました。20/21年度ではこれを継承し、本手法の確立に挑戦していきます。21年度では、これまでに構築したプロセスの精度向上と検証、文書化を主軸に活動していきます。令和の時代に入り、VEにも新たな適用範囲が求められており、 新時代に即した手法・ツール の開発が不可欠になっています。本部会では「 スタートアップ VE 」(逆流 VE を改称)の確立により、 新時代にも通用する VE への進化 を追求していきます。VEのみならず、様々な分野を組み合わせ、活発な議論ができればと願っています。共に学び、研究をしていただける興味・意欲のある皆様の参加を期待しております。 ・研究テーマ: スタートアップへの VE の適用 ・2021年度目標: ビジネスアイデア創出手法としての“スタートアップ VE”の完成とドキュメント化	
	

- VEの普及・定着と成果の拡大 - VE推進部会	対象者: VE活動の推進、人材育成・教育研修などに携わる方 主 査: 大橋 守 [日立金属株式会社 技術開発本部]
原価低減、原価企画活動等の活性化のために、VE推進に関わる課題について、月1回2つの研究会で活動を行っています。「 VE普及推進研究会 」では、普及推進のための課題の解決として、「 VEチームのためのモチベーションアップ 」について研究し、VEプロジェクトのチームモチベーションガイドの作成を目指します。「 VE実践活用研究会 」では、VE実践に役立つ研究として、「 オンラインでのVE実践(オンラインでのファシリテーションやVE実施手順での留意点、ワークシートの工夫など) 」をテーマに研究していきます。さらに、'20年度に実施して好評であったメンバーによる事例紹介も同時間内で行い、実践研究につなげていきます。ぜひ一緒に、VE推進上の課題解決を研究していきましょう。	
	

- プロモーションとVEの接点 - マーケティング部会	対象者: マーケティング、企画業務に関心のある方(未経験者歓迎) 主 査: 神田 之裕 [リコーテクノロジーズ株式会社 経営管理本部]
昨年度まではターゲットとビジネスアイデア創出のプロセス研究を進めてきました。2021年度からは、 新たなテーマとしてマーケティング4Pの一つ「プロモーション」 についての研究を開始します。プロモーションは、目的に応じて広告宣伝、広報(PR)、販促に分けられますが、VE基本原則の考え方や基本ステップをもとに 新しい効果的なプロモーションの研究 を進めます。マーケティングは初めてという方も安心してください。マーケティング専門家はおりません。初めて部会活動の参加を検討されている方も同じスタートなので共に学べます。2021年度のキックオフは4月21日(水)14時~17時予定(Teams オンライン会議)です。ぜひこの機会にマーケティング部会へ登録ください!一緒にVEの可能性を上げましょう!!	
	

- 目指せ VEイノベーション - R & D 部会	対象者: 新しいVE手法の創造、VEの実践、研究開発・設計部門の方 主 査: 野嶋 泰資 [株式会社IHI 航空・宇宙・防衛事業領域]
これからの時代に対応するため、関連手法を含め探究・研究・開発を行い、新たな手法や価値を創造していきます。当部会では2019年度に「 未来洞察 」に着目し、研究を始めました。この方法では、対象テーマの5~10年後を想定する「 予測 」に加え、テーマに関連しない領域も含めて社会がどのように変化するかを想定する「 洞察 」を行います。未来洞察は、この「 予測 」と「 洞察 」を掛け合わせることで、対象テーマの将来像を描く方法論です。 企画段階の VE に適用することで、予測困難な現代にも通用する、 潜在的な顧客要求の抽出方法構築 を目指しています。2020年度は「 戸建住宅用空調システム 」をテーマにケーススタディを行い、「 洞察 」のステップとしてSDGsを基に社会や環境の変化に関する仮説を設定しました。3年目の今年は、得られた仮説を元にシナリオを作成して潜在機能を明確化するとともに、企画VEにつなげる手法の妥当性を検証する予定です。宮城や愛知から参加しているメンバーもあり、遠隔地からの参加も大歓迎です。想定を超えた近未来と一緒に描いていきましょう。【初回会合:4月23日(金)14:00~17:00】	
	

- VUCAの時代を勝ち抜く -
ものづくり部会

対象者: サプライチェーン全般における「ものづくり」に携わる方

主 査: 宮田 徹 [日立建機株式会社 人財開発統括部]

オンラインのメリットを最大限に活かした**新しい活動スタイル**にチャレンジ

これまで、ものづくり部会は、現場に「行って」、現場・現物・現実を「観て」、原理・原則などを「考える(学ぶ)」ことを活動の中心にしてきました。しかしながら、コロナ禍で外出制限がかかったことから、昨年度はこの状況下で「ピンチをチャンスに変える企業とのオンライン技術交流会」を行い、知見を広げました。

現代は **VUCA の時代**、昨日までの常識が明日には通用しなくなる時代です。オンライン環境下で、**どのように「ものづくり」を学ぶかを考えながら活動**していきます。ものづくりに興味・関心のある方、異業種を通じてヒントが欲しい方など、初心者の方も含めて幅広く募集します。

- **オンライン技術交流会(継続)**
ピンチをチャンスに変える中小企業の新技術、製品などの紹介と意見交換会
- **ボーダレス活動にチャレンジ(新規)**
全国、特に地方企業、および海外企業との交流を模索
- **ものづくりに関する勉強会(新規)**
VUCA 時代の改善をテーマ(DX 活用など)



- 事業戦略からまちづくりまで -

社会インフラ部会

対象者: 一般製造業や建設業など、社会インフラに携わる方

主 査: 木守 岳広 [パシフィックコンサルタンツ株式会社 VEセンター]

社会インフラに携わる方々、VE活動の導入や進め方などを気軽に検討したい方々を対象として、様々な情報交換を行いつつ、下記の(A)(B)2つの分科会活動を展開します。

参加メンバー相互の情報交換と技法の学習と実践を通じて、社会のニーズに応えるVE活動に必要なスキルアップを図り、社会に貢献することを目的とします。

(A)「企業ケース検討会」: リーダー: IHI・薄衣

ポーター賞を受賞した企業の分析を基に、優良企業の経営ノウハウを検討し、マニュアル化を視野に入れ、VE手法の新しい活用方法を検討しています。

(B)「建設VE研究会」: リーダー: パシフィックコンサルタンツ・木守

社会インフラの整備やまちづくりにVE手法を適用するための方法や手法を検討し、資料を作成します。今年度は、「道の駅の計画」、「QFD 品質機能展開」、「短時間VE手法」を中心に活動を進めます。



★ 支部主催の事業所見学会と特別講演会について

部会登録の特典として、部会メンバーとその関係者を対象に開催している「事業所見学会」と「特別講演会」につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大で開催できませんでした。先進的なVE活動や効率的な生産システム構築を行っている企業の取り組みを学んだり、VE関連技法や話題のテクノロジーについて知見を広げることができると毎回好評のイベントですので、2021年度は社会環境を注視しながら企画・開催を考えてまいります。

